

授業実践開発領域における学び




熊本大学教職大学院


宮脇 真一

授業実践開発領域における学び


21世紀型能力を育成する
カリキュラムデザイン



21世紀型能力を育成する
協働的な学びの授業デザイン



小学校英語活動の
授業デザイン



授業実践研究

<現職教員院生の場合>

【9月：15日間】

- ・ 課題設定
- ・ 実態の把握
- ・ 研究の構想
- ・ 授業実践

【2月：5日間】

- ・ 授業実践
- ・ 研究計画の修正

授業改善アンケートから

カリキュラムデザイン

【難易度】

難しかった 83%

ちょうどよかった 17%

【達成の程度】

達成できた 92%

【総合評価】

有意義であった 100%



とても良好

協働的な学び

【難易度】

難しかった 83%

ちょうどよかった 17%

【達成の程度】

達成できた 92%

【総合評価】

有意義であった 100%



とても良好

小学校英語活動

【難易度】

難しかった 75%

ちょうどよかった 25%

【達成の程度】

達成できた 75%

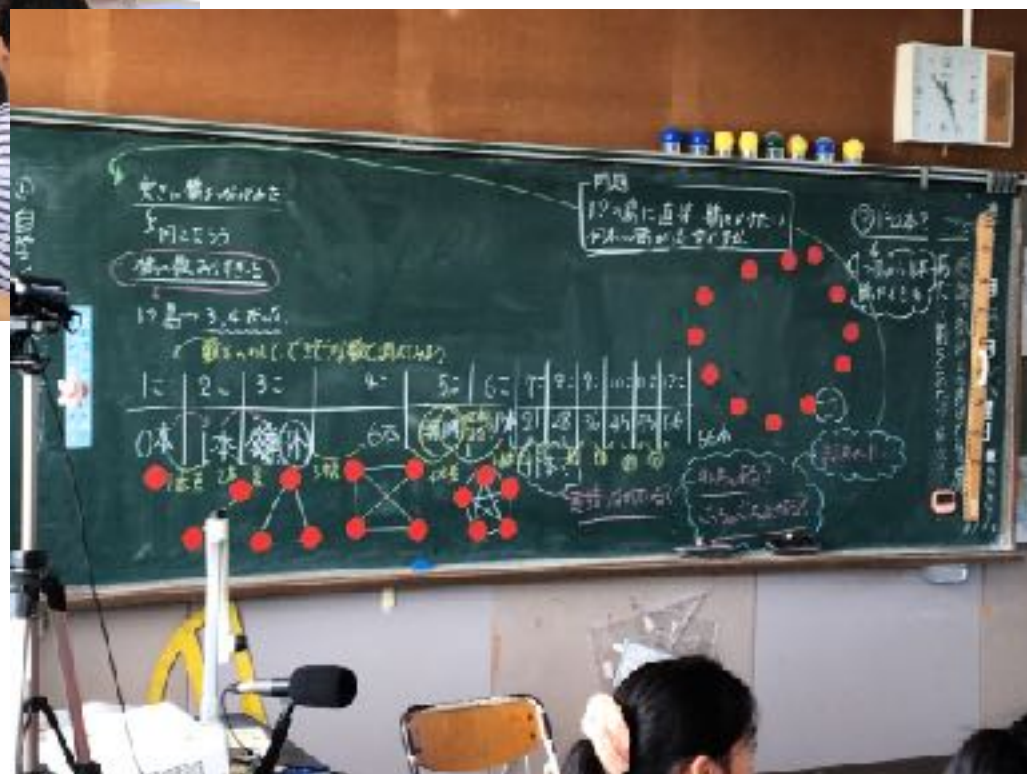
【総合評価】

有意義であった 75%



良好であったが、
一部改善の余地あり

授業実践研究（9月）の様子①



小学校5年：算数
「数の不思議を見つけよう」

小学校教員 (弓削小：余宮忠義教諭)

入学前

【感覚的に実践】

- ・子どもの側からの授業構想

教材
学習課題
協働解決で取り上げる
子どもの考え
(幅広く取り上げる)

「どれもいい」の状況

活動のゴールが不明確

教職大学院

理論の支え

経験させるべき
大切な活動に
全ての子どもを
取り組ませる

共通の足場を
作って、各自の
工夫を促す。

今回の授業実践

【理論に基づく実践】

- ・方向性が明確

教材
学習課題
協働解決で取り上げる
子どもの考え
(焦点化)

深い学びへ

活動のゴールが明確

小学校教員 (弓削小：余宮忠義教諭)

【これまでの授業】

児童の反応をどれも同等に取り扱う

図をかく 表で調べる 立式する

それぞれの考えを比較・検討
(指導技術で答えに導く)



【今回の授業】

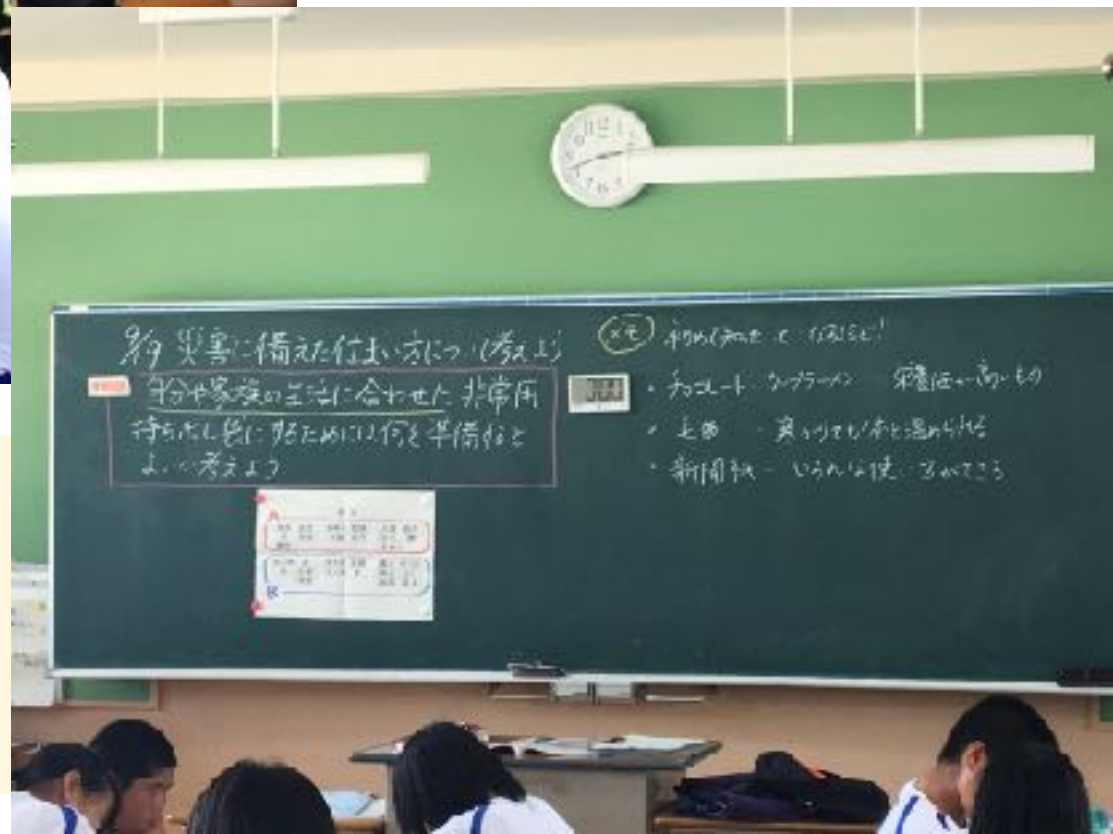
表で調べたことを足場にして推論

表で調べる 図をかく 立式する

算数で大切な「推論する」経験



授業実践研究（9月）の様子②



中学校1年：家庭科
「災害に備えた住まい方
について考えよう」

中学校教員 (牛深中：岩崎由美教諭)

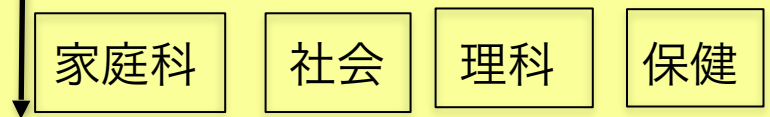
【カリキュラムデザイン】

学力3要素の育成を目指したカリキュラムデザイン。



【これまでの授業】

「家庭科は家庭科 他は他」

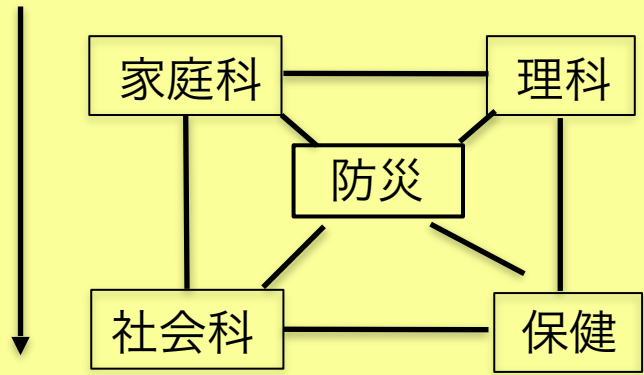


「家庭科の目標達成」に終始



【今回の授業】

「防災」というテーマを核に各教科を関連



各教科の見方・考え方の意識の高まり

現職教員が授業実践開発領域で学ぶ意義

- 過去の経験で「有効」と思っていた指導方法の理論的背景
- 子どもに本来身につけさせるべき内容に効果的に近づく指導
- 自分の教科以外の教科とのつながり
(汎用的な学力の育成に向けた意識)